

## ちば2006年アクションプラン(案)の状況

(単位：百万円)

番号	施策名	平成18年度 当初予算
戦1	産業クラスター戦略の推進による千葉県経済の活性化	2,965
戦2	観光立県千葉の実現	1,399
戦3	日本一の安心農林水産物「千葉ブランド」の確立	402
戦4	「健康づくりふるさと構想」の推進	265
戦5	安全・安心な生活空間づくり	317
戦6	みんなでつくる新しい地域社会	507
1	分権型社会を支える市町村への総合的支援	1,883
2	次世代育成支援対策の推進	33,897
3	男女共同参画社会の実現	84
4	NPO立県千葉の実現	59
5	ちば文化の創造に向けて	137
6	便利で活力ある社会に向けたIT利活用の推進	691
7	「新たな地域福祉像」の実現に向けた基盤整備	379
8	地域・家庭に重点を置いた生活(自立)支援	574
9	自らつくる健康と安心を育む医療	1,806
10	一人の人間としての尊厳の確保	161
11	個性が輝く教育の推進	1,156
12	心と体の教育と健やかな青少年をはぐくむ環境づくり	848
13	防災体制の強化と災害に強い県づくり	9,686
14	生活者としての県民の安全・安心の確保と体制整備	534
15	交通安全県ちばの確立	2,993
16	活力ある県土の基盤づくり	61,352
17	豊かなくらしと環境を創造する県土の基盤づくり	36,515
18	良好な大気・水環境の確保と環境再生の推進	3,015
19	資源循環型社会づくりの推進	702
20	産業廃棄物の適正処理対策	409
21	残土対策の推進	0
22	三番瀬の再生	341
23	森林の保全と総合利用	1,720
24	地域を支える中小企業の活性化	575
25	産業社会を支える就業支援と人材育成	349
26	国際化に対応した力強い農林水産業の展開	15,876
27	成田空港の機能拡充と国際空港都市づくり	5,295
28	つくばエクスプレス沿線の大学と地域の連携による国際学園都市と産業拠点の形成	3
29	複合機能都市「幕張新都心」の形成	416
30	サイエンス・パーク「かずさ」の国際的地位の確立	592
31	国際化の推進	37
32	県庁経営システムの質的転換	0
33	県内外への効果的・戦力的な広報とひらかれた県政運営	626
計		188,566

特別会計・企業会計に係る予算額及び複数の施策に係る事業の再掲分は含まない。

## 6つの戦略プロジェクトの展開

### 1 産業クラスター戦略の推進による千葉県経済の活性化

#### 〔1〕ネットワーク機能の強化による研究開発・実用化の促進

##### 産業クラスター戦略推進事業【新規】

54百万円

現在策定中の「千葉新産業振興戦略」(仮称)を実効あるものとするため、本県が今後特に重点的に推進していく必要があると考えられる7分野の産業振興を推進する体制・ネットワークの強化を図ります。

##### かずさDNA研究所実用化研究推進事業

97百万円(1億66百万円)

「かずさバイオ共同研究開発センター」において、かずさDNA研究所の研究成果を活用し、県内外の大学等とともに応用研究に取り組み、産業化・実用化を目指します。

##### ロボット技術応用産学官連携事業【新規】

6百万円

県内におけるロボット関連の新事業創出を促進するため、作業ロボットの研究を産学官共同で実施します。

##### 海外特許出願支援事業【新規】

15百万円

中小・ベンチャー企業の国際競争力を強化するため、優れた技術等を有し、かつ、それらを海外において広く活用しようとする中小・ベンチャー企業の海外特許出願に対して助成します。

#### 〔2〕産業クラスター形成の担い手である中小・ベンチャー企業の支援

##### 地域ブランド認定事業【新規】

1百万円

千葉県内の中小企業が有する優れた製品や独創的な製品(オンリーワン製品)を「千葉ものづくり認定製品」(仮称)として認定し、国内外へ広く情報発信します。

ニューマーケット開拓支援事業 14 百万円 ( 11 百万円 )

新たな販売先の開拓や顧客ニーズを自社の製品や技術に反映したいと考える県内の中小企業及びベンチャー企業を対象に、市場ニーズの把握や商品企画力、販路開拓等について支援を実施し、中小企業及びベンチャー企業の育成・発展を図ります。

### 〔 3 〕 戦略的な企業誘致の推進

工業導入促進事業 ( 立地企業補助金 ) 8 億 41 百万円 ( 1 億 76 百万円 )

県内への企業立地を促進することにより、経済の活性化と雇用の確保を図るため、立地企業に対し助成することにより、戦略的な企業誘致を推進します。

幕張新都心活性化構築事業【新規】 5 百万円

幕張新都心における新産業創出や戦略的企業誘致を進めるため、専門家、関係者で構成する研究会を設置し、幕張新都心の産業立地基盤や都市機能のあり方等を検討します。

### 〔 4 〕 産業クラスターの形成・発展を支える人づくり

ちば若者キャリアセンター管理運営事業 46 百万円 ( 26 百万円 )

教育、雇用対策、産業政策が横断的に連携しながら、就業支援、職業観の醸成、産業人材の育成及び企業の採用支援を進めるため、若年者の就業促進、離職率の低下及び次代を担う産業人材の育成の拠点であるちば若者キャリアセンターの運営を行います。

キャリア教育推進事業【新規】 9 百万円

学校、家庭、地域社会、地域産業・企業との連携のもと、地域の教育力を活かした小学校から高等学校まで発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進します。

## 2 観光立県千葉の実現

### 〔1〕総合的な視点から取り組む21世紀型の観光地域づくり

房総のむらにおける江戸時代風景の再現事業【新規】 1億50百万円  
国内外からの集客力の向上と、郷土文化の振興の充実を図るため、掘割、家屋等について本物志向の施設改修を行い、江戸時代の房総風景の再現を図ります。

定住・交流による地域活性化モデル形成促進事業【新規】 40百万円  
房総半島の温暖な気候や豊かな自然、大都市への近接性等を活かし、自然の中で住み、憩い、豊かな生活を楽しむ、新しい時代の観光地域の形成を図るため、適地や整備手法等について調査・検討を行うなど、地域活性化のモデルとなる地域の整備を促進します。

### 〔2〕多彩な資源に包まれた新しい観光空間づくり

観光立県千葉モデル推進事業 63百万円（ 80百万円）  
地域の特色ある観光資源を活用した、地域の主体的な新しい魅力ある観光地づくりへの先導的な取り組み（リーディングプロジェクト）等を支援します。

新観光資源創出事業 25百万円（ 21百万円）  
映画・ドラマのロケ地に着目したフィルムツーリズムの推進、県内の歴史・文化や都市・産業の観光資源としての活用を図るとともに、本県の素晴らしい眺望箇所について「眺望100景」として選定します。

房総おもてなしの花のラインづくり事業【新規】 9百万円  
本県の大きな観光資源で、キャッチフレーズにもなっている「花」をおもてなしのツールにするため、デスティネーションキャンペーン展開時期に合わせて、地元市町村等が企画・立案した「花」の植栽を実施します。

食のまちづくり支援事業【新規】

8百万円

食の地域ブランドを確立するため、地域の行政、観光・商工・飲食等の団体による研究会を立上げ、販売やPRに至るまでの仕組みづくりの研究活動を支援します。

参加体験型観光推進事業

14百万円（ 15百万円）

参加体験型観光を紹介するパンフレット、教育関係者向けティーチャーズガイドを製作し、集客促進を図るとともに、自然体験活動リーダーの養成など受け入れ体制の充実を図ります。

グリーン・ブルーツーリズム千葉からの情報発信事業 7百万円（ 4百万円）

旅行業者及び旅行関係マスコミの方々に食・農山漁村地域のモニター体験を通じた情報発信を行ってもらうとともに、地域イベントの支援、デスティネーションキャンペーンと連携したPRを行います。

「千葉の海」丸ごと満喫事業

4百万円（ 3百万円）

地域の水産資源などを活用した滞在型スタンプラリーの実施やデスティネーションキャンペーンと連携した魚の販促キャンペーンを通じ都市と漁村との交流を推進します。

エコツーリズム推進事業

5百万円（ 2百万円）

地域における自主的なエコツーリズムに向けた取組を支援するため、地域資源の活用からエコツアーの実施までのモデル事業を実施し、その成果を情報提供します。

また、エコツーリズムを推進する人材を育成するため、ウエットランドガイドを対象に研修を実施します。

大学と連携した魅力ある観光地づくり推進事業【新規】

9百万円

本県の観光振興上の課題となっている事項の解決に向け、観光系学部を有する県内大学を活用し、具体的な事業の提案と実践を行います。

### 〔 3 〕 新たな観光産業の創出などによる地域経済の活性化

観光人材育成支援事業 14 百万円 ( 8 百万円 )

ふさの国観光みらい塾を開講し、地域の観光地づくりを担うリーダーの育成と観光振興を図るため、観光業に携わる若手経営者等を対象にした実践型の講座を開講します。また、おもてなしリーダーやボランティアガイドの養成及び県民や観光事業者を対象としたセミナーを開催します。

観光立県総合推進事業 9 百万円 ( 4 百万円 )

地域住民、NPO、自治体等が連携して、継続的に観光振興に取り組むため、観光立県ちば推進協議会を運営します。また、観光立県ちば推進協議会などからの提言・意見を踏まえ機動的な施策展開を図るため、関係機関等との密接な連携・協力のもと、施策の実効性・実現可能性に係る調査分析や実証実験等、実現に向けた方策の検討を進めます。

定住促進支援センター機能整備事業【新規】 28 百万円

温暖で住みやすい本県への定住を促進し、地域の活性化を図るため、本県への定住希望者にワンストップで様々な情報を提供する定住促進支援センター機能を整備します。

### 〔 4 〕 戦略的なプロモーション活動の展開

観光立県全国キャンペーン事業 1 億 13 百万円 ( 90 百万円 )

平成 19 年 2 月から 4 月までの間、県内外に向けた大型観光キャンペーンである JR6 社とタイアップした「ちば destinations キャンペーン」を実施します。また、全国的規模の大型イベントにおいて積極的な観光宣伝活動を実施します。

外国人観光客向けプロモーション事業 31 百万円 ( 30 百万円 )

訪日外客数が多く、プロモーション効果の高い東アジア 3 国 (台湾、韓国、中国) を重点的外客誘致対象国として、プロモーションを行い、県内の旅行商品の造成及び本県観光の認知度の向上を目指します。

外国人観光客受入体制整備事業 34 百万円 ( 21 百万円 )

「外客来訪促進計画」に基づき、観光ルネサンス補助制度、地域限定通訳案内士制度について市町村、民間組織への周知を図るとともに、成田空港周辺の受入体制整備を行うことにより、外国人観光客の利便性の向上を図り、本県への外国人観光客の増加を図ります。

千葉県国際観光情報提供事業【新規】 13 百万円

観光や日本の生活文化等を楽しめる環境づくりを目指し、本県観光情報を始めとして、外国の方が安心して旅行できるように必要な情報の有効的な発信手段のひとつであるインターネットを活用した情報提供を行います。

外客来訪促進計画推進組織負担金【新規】 3 百万円

「外客来訪促進計画」を推進するため、茨城県と共同で推進組織を設置し、地域が一体となった外国人観光客の来訪を促進するための事業を行います。

観光千葉ブランド発信事業 19 百万円 ( 15 百万円 )

「観光千葉ブランド」として本県のイメージアップを図るとともに、そのイメージの定着を図るため、時期及び対象を絞り込むなど、より効果的、戦略的な方法により本県の魅力を発信します。特に、観光立県千葉モデル推進事業等で創出された新たな観光資源について、集中的・効率的な広報活動を展開します。

### 3 日本一の安心農林水産物「千葉ブランド」の確立

#### 〔1〕千葉ブランド、安心な「ちばエコ農産物」などの安定的な生産

「ちばエコ農業」産地拡大スピードアップ支援事業 31 百万円（ 15 百万円）

「ちばエコ農業」の産地及び品目拡大のスピードアップを図るため、生産技術の確立と普及定着を推進するとともに、直売所や道の駅等を中心とした生産拡大を促進します。また、産地育成や販売促進をサポートする産地アドバイザーの設置等を行います。

「ちばエコ農業」躍進事業【新規】 1 百万円

「ちばエコ農業」に取り組む生産者・販売者及び消費者との交流イベントを開催し、「ちばエコ農産物」の理解促進と消費拡大を推進します。

アグリビジネス支援普及活動事業【新規】 7 百万円

安定的・発展的なアグリビジネス（加工・流通改善等による高付加価値農業）のシステム構築のため、マーケティング調査、生産体制の整備、産地からの商品提案、販路拡大等を支援します。

新品種開発スピードアップ事業【新規】 6 百万円

産地間競争に打ち勝つため、千葉県のオリジナル品種について、開発してから現地に普及させるまでの期間を短縮します。また、DNA品種識別技術を開発し、ブランド力強化（にせもの防止）を図ります。

「ふさこがね」生産・販売促進対策事業 19 百万円（ 16 百万円）

早場米産地の特性を活かした「消費者に選択される米づくり」を推進するため、平成 18 年から家庭の食卓にのぼる新たな品種「ちば 28 号（愛称：ふさこがね）」の普及・定着・需要確保を図ります。

県産和牛ブランド化推進事業【新規】 8 百万円

県産和牛のブランド化を図るため、優良和牛雌牛を選抜し、それら優良牛の受精卵の採取・移植を行うことにより、ハイスピードで本県独自の品質の優れた和牛の改良と増殖を行います。



**いきいき帰農者等支援事業【新規】**

2 百万円

地域農業の新たな担い手確保のため、農業経営モデルの提案、研修会の開催、生産技術の相談等により、定年退職を迎える団塊の世代や新たに就農をしようとする人達を支援します。

## 〔 2 〕 新鮮でおいしい千葉の魚のブランド化

**味の交差点構築事業**

1 百万円 ( 4 百万円 )

県産水産物の販売強化を図るため、県産の優良水産物を「千葉ブランド水産物」として認定する制度を立ちあげます。また、千葉の魚の美味しさを支える人々と消費者を結ぶ交流ホームページ「千葉さかな倶楽部」を開設します。

**地魚一番 in 千葉事業**

10 百万円 ( 6 百万円 )

千葉県内で漁獲、水揚げされた魚(地魚)について、イベントへの出展による消費拡大PR、付加価値を高めるための加工品開発、「千葉ブランド水産物」認定品の周知・PR等により、県内の漁業、水産加工業の活性化と千葉のさかなのブランド力強化を図ります。

## 〔 3 〕 千産千消、千産全消のための販売戦略の展開と販売・流通体制の確立

**県産農産物セールスプロモーション事業【新規】**

39 百万円

「千産千消・千産全消推進本部(仮称)」を設置し、県産農産物の首都圏における販売促進活動を戦略的に実施します。

また、生産履歴のわかる県産畜産物の定着と販売を促進し、国内外の競合産地との差別化を図ります。

**千産千消ネットワーク推進事業**

13 百万円 ( 8 百万円 )

県内産地、市場、集配送センター、青果加工センター、食品関連産業等間の情報管理システムを構築し、県産農産物の販売促進はもとより、流通の効率化、実需者ニーズに沿った県内産地の育成等を図ります。

また、ホームページ「教えてちばの恵み(仮称)」により、県産農林水産物の生産販売情報を消費者に提供します。

「ちばエコ農産物」販売協力店設置促進事業 10百万円（ 3百万円）

「ちばエコ農産物」の販路拡大を図るため、販売協力店の登録及び販売促進を支援します。また、「ちばエコ農産物」の生産・集荷・配送・販売等における課題を調査し、販売協力店ではいつでも「ちばエコ農産物」が入手できるシステムの構築を図ります。

卸売市場産地間連携支援事業【新規】 1百万円

地域の特性を活かした魅力ある県内市場として、市場の充実・基盤強化を図るため、卸売業者が行う産地や実需者と連携した商品開発や販売促進等の取組を支援します。

「サンプスギ」ブランド化推進事業 27百万円（ 28百万円）

千葉のブランド木材であるサンプスギについて、生産・流通・消費の一連の流れを構築するとともに、サンプスギ材を使用した家屋のモニター調査、木材市場の見学会等を行い千産千消を推進します。

「千葉ブランド」農産物国際化支援事業 13百万円（ 12百万円）

県産農産物や植木の新たな市場を東アジア諸国等の海外へ展開するため、海外見本市への出展やテスト輸出を行う生産者団体等の取組を支援します。

#### 〔４〕食育の推進・生産者と消費者相互の理解と信頼の確立

ちば食育活動促進事業 17百万円（ 14百万円）

県民一人ひとりが「食」や「農」に対する正しい知識を身につけ、健全な食生活を実現できるよう、学校や地域、家庭における食育を県民運動として推進します。また、小・中学校における食と農の体験学習による食育の実施や、食育基本法に定める県の食育推進計画の作成を行います。

食品安全推進事業 8百万円（ 9百万円）

千葉県食品等の安全・安心の確保に関する条例（仮称）について、消費者や食品関連事業者等への周知を図るとともに、リスクコミュニケーションの促進等を通じ、食の安全・安心の確保及び知識の啓発を推進します。

## 4 「健康づくりふるさと構想」の推進

### 〔1〕健康政策「健康生活コーディネート」の全県展開

健康生活コーディネート事業検討委員会等運営事業 1百万円（ 4百万円）

健康生活コーディネートプログラムについて、これまでのモデル事業の結果を受け、これをさらに発展させるため、プログラム内容及び健康生活コーディネーターの育成カリキュラム等について検討します。

健康情報システム運用事業 16百万円（ 36百万円）

健康生活コーディネート事業において、参加者の健康データを継続的に蓄積し、併せて参加者自身が蓄積された自らのデータを希望するときにいつでも引き出すことができるデータベースシステムを運用します。

健康生活コーディネーター育成事業 28百万円（ 52百万円）

一人ひとりの健康生活を、運動・栄養・精神保健にわたりコーディネート（総合調整）する「健康生活コーディネーター」の育成研修やフォローアップ研修を実施します。また、健康生活コーディネーター育成研修を、受講者が受講しやすいシステムとするため、「e-ラーニング」による研修も実施します。

健康生活コーディネート評価・分析事業 18百万円（ 21百万円）

科学的根拠に基づく健康づくりを進める観点から、健康づくり事業の参加者と非参加者の経年的な健康状況や医療費等の変化について統計的に比較し、健康生活コーディネート事業の効果について評価・分析を行います。

健康生活コーディネート普及啓発事業 5百万円（ 16百万円）

「健康づくりふるさと構想」のこれまでの実績を踏まえ、シンポジウム及び講演会を県内で開催するほか、事業を広く周知するための広報を行います。

健康生活コーディネート個別提示事業 73百万円( 130百万円)

健康生活コーディネートプログラム等を活用して、参加者一人ひとりの状況に応じた健康づくりの目標設定と目標達成に向けた行動等を提案するモデル事業を実施します。モデル市町村等には、健康生活コーディネーターの派遣等を行います。

健康づくり高度化推進事業【新規】 29百万円

健康で豊かな高齢社会の実現を目指し、県民の健康増進を図るため、健康生活コーディネート事業を活用して、市町村等が実施する科学的な健康づくりへの総合的な支援や新たな健康づくりへの取組を推進することにより、健康づくりにおける技術等の一層の高度化を促進します。

「健康生活コーディネート」の民間展開事業 18百万円( 18百万円)

「健康生活コーディネート」の取組を全県的に広めるため、平成17年度に実施したフィットネスクラブなどの民間事業者によるモデル事業を継続し、実施結果に基づく民間展開に関する検討会を設置するとともに、健康生活コーディネート事業の成果を活用して、地域社会が主体となる新たな健康づくりを展開するための手法を構築することにより、今後の民間展開の仕組みづくりを促進します。

## 〔2〕医療・福祉と一体となった生涯を通じた健康づくりの推進

千葉県型介護予防モデル事業 25百万円( 25百万円)

健康生活コーディネート事業の対象を要支援・要介護(軽度)者に拡大するため、平成17年度の実証実験の結果から課題を抽出し、問題点を改良した新たなモデル事業を実施することにより、要支援者等を対象とする新たな介護予防プログラムの確立を図ります。

健診と連携した生活習慣病予防モデル開発事業【新規】 15百万円

医療保険者と連携して、健康診断等で生活習慣病のリスクが高いとされた人が、確実に生活習慣の改善に結びつく健康づくりシステムの構築に向け、健康生活コーディネートプログラムを活用した生活習慣病予防モデルの実証実験を行います。

### 〔 3 〕 地域資源を活用し多様化するニーズに応える魅力ある健康サービスの創出

ちば産学官連携健康づくり推進事業 24 百万円（ 16 百万円）

県民の多様な健康ニーズに応える魅力ある健康サービスの創出を促進するため、県内の大学、市町村、民間事業者等が共同・連携して行う地域資源を活用した健康療法の開発、リハビリやメンタルヘルス、科学的根拠に基づく新たな健康づくりモデルや健康サービスの創出に向けた取組を支援し、その普及を促進します。

健康と癒しの森整備事業 5百万円（ 6百万円）

平成 17 年度に開発した、里山等の森林を活用した健康増進プログラムを実施するモデル地を設け、公開森林療法を実施するとともに、森林療法の研修会や森林療法に関する普及啓発を行います。

## 5 安全・安心な生活空間づくり

### 〔1〕県民一人ひとりの防犯意識の向上

安全安心まちづくり推進事業 8百万円（ 5百万円）  
条例と条例に基づく各種指針等について、パンフレット等の街頭キャンペーンでの配布、防犯ハンドブックの千葉県安全安心まちづくり推進協議会等を通じた配布、自主防犯活動の紹介ビデオの配布など、各種の広報活動を通じて普及啓発を推進します。

犯罪発生情報等の提供事業 11百万円（ 8百万円）  
県民の自主防犯意識を高めるため、ひったくり、車上ねらい、自動車盗及び侵入盗の4罪種の犯罪発生状況と女性・子どもの犯罪被害につながるおそれのある不審者による声かけ、つきまといなどの不審者情報を地図情報により公開します。

### 〔2〕良好な地域コミュニティづくりの推進

みんなのちからで行う防犯活動支援事業 25百万円（ 20百万円）  
住民自らが企画して行う防犯パトロール、地域診断や安全マップの作成などの防犯活動に対し、市町村、警察、県等が計画策定段階からアドバイスをするとともに、助成します。また、市町村が地域の防犯活動を促進させるために行う事業にも同様に支援を行います。

自主防犯団体の活動、施設に対する支援事業 2百万円（ 4百万円）  
地域住民の自主防犯活動の拠点で、「地域防犯情報センター」として指定を受けた施設等に対して、多機能電話や掲示板などを貸与し、自主防犯活動の取組を支援し、その活動拠点としての機能の充実を図ります。

菜の花ユニバースによる防犯対策事業 5百万円（ 3百万円）  
県内の成人大学生によりボランティアグループ「菜の花ユニバース」を結成し、地域住民と協働したパトロール等を行うことで、若者らの防犯意識の向上、将来の地域ボランティアリーダーの育成を図るとともに、地域の防犯活動の活性化にも寄与します。

### 〔 3 〕 防犯に配慮した環境の整備

防犯に配慮した道路・公園・駐車場、住宅等の構造、設備に関する指針の普及事業【新規】 7百万円

指針の周知、普及を促進するとともに、地域住民・市町村・警察等関係機関による合同防犯現地診断、指針に基づく県営住宅の適合状況調査を行います。

街頭緊急通報システムを活用した地域の安全確保推進事業

32百万円（ 32百万円）

事件に遭遇した場合に、現場から警察に通報する街頭緊急通報システム（スーパー防犯灯）を習志野市内に整備します。

### 〔 4 〕 子どもたちの安全確保

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業【新規】 4百万円

学校安全を推進するための方策として、学校安全ボランティア（スクールガード）を活用し、家庭や地域をはじめ、関係機関・団体と一体となった学校安全への取組を行います。

子ども緊急通報装置を活用した子どもの安全確保推進事業

22百万円（ 2百万円）

通学路等の安全確保のために、事件に遭遇した場合に、現場から警察に通報する子ども緊急通報装置を浦安市内に整備します。

### 〔 5 〕 犯罪被害者支援の促進

被害者支援活動の促進事業 7百万円（ 5百万円）

犯罪被害者等の支援活動を推進するため、相談及び付添い等の業務を千葉犯罪被害者支援センターに委託し、被害者と接する職員等へのマニュアルを作成します。また、相談や支援内容等を一括掲載したパンフレットを作成し、犯罪被害者へ情報提供します。

## 6 みんなでつくる新しい地域社会

### 〔1〕新しい住まいの場・生活の場・子育ての場の確保

県営住宅を活用した新たな地域づくりのための推進事業

1 百万円（ 5 百万円）

県営住宅の建替えを契機に、県営住宅の空間や敷地を活用して、地域が必要とする機能や施設について、地域が主体的に検討していくことを支援します。

マディソンモデルを活用した精神障害者の地域社会への移行モデル事業

26 百万円（ 17 百万円）

重度の精神障害者を含めた長期入院患者の退院促進を円滑に進めるとともに、新たな長期入院の発生を防止するため、精神障害者を地域で支える仕組みのモデルづくりを行います。

重度・重複障害者等グループホーム運営事業補助 14 百万円（ 7 百万円）

重度・重複障害者や医療的なケアが必要な障害者が入居し、生活をするグループホームの運営に要する経費を助成し、障害者の社会参加の促進を図ります。

障害者グループホーム等支援事業

53 百万円（ 14 百万円）

知的障害者及び精神障害者グループホーム等の入居者や、グループホーム世話人等への助言・支援等を実施するため、中核地域生活支援センター等に支援ワーカーを配置します。

まっ白い広場（プレーパーク）づくりモデル事業 13 百万円（ 20 百万円）

既存の与えられた公園等ではなく、子どもたちが想像力を生かし、自分たちの責任で、異年齢の子どもたちとも群れて自由に遊ぶことができる遊び場を、県のモデル事業として推進します。



## 〔 2 〕 サービス供給、就労支援、経済再生の一石三鳥を達成

新たな地域福祉像の実現支援事業 70 百万円 ( 81 百万円 )

地域の特性に応じた福祉サービスを提供する環境の整備や地域の福祉ニーズに即した在宅福祉サービス等の充実を推進する事業を支援します。また、公的福祉サービス外のサービス供給事業所の設置支援を行い、小域福祉圏ごとに県内 800 から 1,000 箇所のサービス提供事業所を創出することを目指し、事業創出のための相談員の派遣やサービス提供者を養成します。

福祉有償運送支援事業【新規】 2 百万円

高齢者・障害者等の移動困難者のための移送サービスの普及を図るため、市町村における運営協議会の設立への支援や、制度の説明会、運転者講習会の講師を育成する研修等を実施します。

福祉作業所等の機能を強化する事業 18 百万円 ( 18 百万円 )

障害者が、地域で経済的に自立した生活を実現するため、千葉県障害者就労事業振興センターの支援を行い、福祉作業所等の収益力等を強化し、障害者賃金等の向上を図ります。

## 〔 3 〕 総合コーディネート機能等の充実

福祉リーダー育成研修事業 4 百万円 ( 4 百万円 )

「健康福祉千葉方式」と「千葉県地域福祉支援計画」の考え方を広く県民に伝え、実践に導くとともに、将来に向けて、県の健康福祉施策推進の中心的役割を担う人材（健康福祉千葉方式次世代リーダー）の育成や、中核地域生活支援センターの人材育成等に取り組みます。

福祉人材研修受講推進（マイレージ）事業【新規】 2 百万円

福祉関係の民間研修と県の研修を体系化し、県民に一元的に情報提供していくため、県内における研修の実態を把握するとともに、研修の単位化や研修の受講状況の公表方法などについて検討します。

福祉サービス第三者評価・情報公表推進事業 19 百万円 ( 5 百万円)

福祉サービスの向上と利用者の良質なサービスの選択を支援するため、すべての福祉サービスを横断的、包括的な第三者評価・情報公表事業を実施します。

#### 〔 4 〕 地域の自発的取組による地域力の向上

「地域住民が主役の地域福祉計画」策定支援事業【新規】 7 百万円

地域住民一人ひとりが主役となった「地域づくり」を加速するため、市町村が策定する「地域福祉計画」の策定経費のうち住民参加の促進に係る経費を助成します。

地域づくりタウンミーティング開催支援事業【新規】 1 百万円

地域住民の身近な生活圏単位で、「地域づくり」をはじめとして「福祉のまちづくり条例」の見直し（地域づくり条例（仮称））に向けた議論を進めます。

大学の知的資源を活用した地域づくり支援事業【新規】 1 百万円

県内大学との連携により、地域の課題を大学に投げかけ、研究者がそれに応える場を設けることで大学の知的資源を活用した地域社会づくりを進めます。

子育て地域力強化モデル事業 26 百万円 ( 26 百万円)

千葉県次世代育成支援行動計画の基本理念である、「地域のみんなで子どもと子育て家庭の育ちを支える」という考え方を普及し、事業の実効性を確保するため、市町村が中心となっていく地域力強化の取組で、地域の主体的な取組のモデルとなるものに対して支援します。

みんなを支える千葉県型集落営農支援普及活動事業 7 百万円 ( 5 百万円)

個性的で活力のある地域営農や産地化を実現するため、水稻をはじめ、野菜や果樹、花きなどの産地の育成及び強化、耕畜連携による資源循環型農業の確立など、幅広い視点をもって集落住民が自ら行う集落の将来ビジョンの策定等に対して支援を行い、集落住民の創意工夫による集落営農を推進します。

農地・水・農村環境保全向上活動支援実験事業【新規】

53 百万円

農村地域において農業者及び地域住民等が協力して活動組織を立ち上げ、農道や用排水路等の適切な保全・管理を行うとともに、今後の集落のあり方や農村環境の保全・向上などの活動計画づくりをモデル地区で実施し、その成果を検証し地域主体の活動指針を作成します。